

第 86 回 — 楽典 課題 I —

【I】 次の楽譜を見て、以下の問いに答えなさい。

B. Smetana, String Quartet No.2, 3rd Mov.

(1) 次の文章の { } の中から正しいものを選び、その番号 (1・2・3) を記入しなさい。

イ) ㉓で示された楽語の意味は、
 { 1. 心地よく
 2. 歌うように
 3. 軽やかに } である。

ロ) ㉔で示された楽語の意味は、
 { 1. 燃えるように
 2. 表情豊かに
 3. 活気をつけて } である。

ハ) ㉕で示された音の異名同音は [1] { 1. cis
 2. c
 3. hisis } と [2] { 1. deses
 2. dis
 3. des } である。

ニ) ㉖で示された楽語の意味は、
 { 1. だんだん遅く
 2. 音の長さを保って
 3. ゆるやかに } である。

(2) ①・②……⑩ で示された 2 音間の音程を答えなさい。

(3) 「-----」 で示された第 1 ヴァイオリンの旋律を、長 3 度低く調号を用いずに移調しなさい。

【II】 次の文章の () 内にふさわしい語句を下欄から選び、その番号を記入しなさい。

(1) (ア) 時代には、器楽分野が大きく進展した。その代表的なものとして、(イ)、弦楽四重奏曲、ピアノ・ソナタがある。(ウ) で生まれたベートーヴェンは、22 歳のときに (エ) に出て、そこで生涯を閉じたが、(イ) の分野で 9 曲を世に残した。その第 3 番は「(オ)」と名付けられている。

(2) (カ) 時代には、華麗なテクニックで聴衆の人気を得るピアノ曲が数多く作曲された。そうした作品のなかに、1811 年生まれの (キ) が作曲した「(ク)」や「超絶技巧練習曲」がある。一方で (キ) は、管弦楽の分野で (ケ) というジャンルを確立したことで知られる。そのジャンルの代表作として「(コ)」がある。

1. バリ	2. ウィーン	3. ボン
4. バロック	5. 古典派	6. ロマン派
7. 交響曲	8. 交響詩	9. リスト
10. ショパン	11. シューベルト	12. 驚愕
13. 前奏曲	14. ハンガリー狂詩曲	15. 英雄

第 86 回 一楽典 課題 I 一

【Ⅲ】

(1) 次の各音の上方、または下方に指示された音程をつくりなさい。

ただし、与えられた譜表上に記入すること。

イ) 上方につくりなさい。

1. 完全5度 2. 長2度 3. 減7度 4. 増6度

ロ) 下方につくりなさい。

1. 減5度 2. 短6度 3. 長3度 4. 1オクターブと増4度

(2) 次に与えられた各音を、それぞれ指示された音階構成音とする調を調号と主音で示しなさい。

ただし、短調は旋律短音階上行形によるものとする。

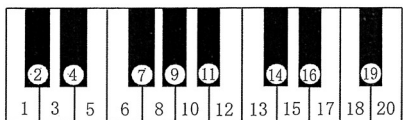
1. を属音 (V) とする長調
V

2. を中音 (III) とする長調
III

3. を下中音 (VI) とする短調
VI

第 86 回 — 楽典 課題 II —

【I】 次の鍵盤図を見て、下の問いに答えなさい。



- (1) 鍵盤番号によって示された 2 音が、指示された音程や調の音階構成音であるとき、それぞれに該当する調名、または音程名を例にならって記入しなさい。ただし、短調は和声短音階の構成音によるものとする。

例

鍵盤番号	8 - 16	
調名	変口長調	
音程名	度	増 5 度

例解

鍵盤番号	8 - 16	
調名	変口長調	ホ短調
音程名	短 6 度	増 5 度

1.

鍵盤番号	4 - 7	
調名	変ト長調	
音程名	度	増 2 度

2.

鍵盤番号	3 - 12	
調名	ハ短調	
音程名	度	減 7 度

3.

鍵盤番号	8 - 14	
調名		
音程名	減 5 度	

- (2) 鍵盤番号 9・12・18・20 を音階構成音として含む音階の調名を答えなさい。
ただし、短調は旋律短音階上行形の構成音によるものとする。
- (3) 鍵盤番号 3・6・9・12 によって示された和音が VII₇ の和音の構成音となるとき、調名を答えなさい。

【III】 次の楽譜中 ㊶・㊷・…・㊸ で示された和音のひびきの種類（長三和音・短三和音…）を答えなさい。

【IV】 次の旋律の調名を答えなさい。

【II】 次の文章中の 内に該当する調名、または調関係を示す語を記入しなさい。

- (1) ト長調 (G dur) の属調は、 である。
- (2) ニ短調 (d moll) の平行調は、変口長調 (B dur) の である。
- (3) 嬰へ短調 (fis moll) の平行調は、 の下属調の同主調である。
- (4) 変ト長調 (Ges dur) の異名同音調は、嬰ト短調 (gis moll) の である。

第87回 一楽典 課題I

【I】 次の楽譜を見て、以下の問いに答えなさい。

J. Sibelius, Op.2a (revised version, 1911)

(1) 次の文章の { } の中から正しいものを選び、その番号(1・2・3)を記入しなさい。

イ) ㉓で示された楽語の意味は、
 { 1. 荘重におそく
 2. やや幅広くおそく
 3. やや静かにおそく } である。

ロ) ㉔で示された連符を完成させると
 { 1.
 2.
 3. } となる。

ハ) ㉕で示された楽語の意味は、
 { 1. 非常に多く
 2. 少なくなく
 3. 少し } である。

ニ) ㉖で示された音の異名同音は
 { 1. ais
 2. bes
 3. ceses } である。

ホ) ㉗で示された連符を完成させると
 { 1.
 2.
 3. } となる。

(2) ①・②・・・⑩ で示された2音間の音程を答えなさい。

(3) 「-----」で示されたヴァイオリンの旋律を、完全4度低く調号を用いずに移調しなさい。

【II】 次の文章の () 内にふさわしい語句を下欄から選び、その番号を記入しなさい。

- (1) (ア) 時代に (イ) でオペラが誕生し、数多くの作品が作曲されるようになった。また、オペラと並んで、オラトリオや (ウ) といった声楽のジャンルで、歌詞内容とその音楽的な表現が重視されるようになった。オラトリオは、(エ) な題材に基づいた大規模な劇的作品であるが、オペラのような演技や舞台装置を伴うことは基本的にない。このジャンルで、ヘンデルは「(オ)」を残した。
- (2) (カ) 時代には、物語や詩など音楽以外の要素を取り込んだ交響詩というそれまでには見られなかったジャンルが登場した。このジャンルを確立した作曲家(キ)は、当時最高の(ク)としても知られている。また、この時代に(ケ)は、自ら台本を書き、演劇や美術、音楽が一体となった「楽劇」と呼ばれる新しいジャンルを創始した。その代表作のひとつに「(コ)」がある。

1. イギリス	2. イタリア	3. リスト
4. ワーグナー	5. バロック	6. ロマン派
7. カンタータ	8. ソナタ	9. ピアニスト
10. ヴァイオリニスト	11. 歌手	12. トリスタンとイゾルデ
13. メサイア	14. 宗教的	15. 世俗的

第 87 回 — 楽典 課題 I —

【Ⅲ】

(1) 次の各音の上方、または下方に指示された音程をつくりなさい。
ただし、与えられた譜表上に記入すること。

イ) 上方につくりなさい。

1. 完全5度 2. 長6度 3. 短3度 4. 減7度

ロ) 下方につくりなさい。

1. 増4度 2. 短6度 3. 長3度 4. 減12度

(2) 次に与えられた各音を、それぞれ指示された音階構成音とする調を調号と主音で示しなさい。
ただし、短調は旋律短音階上行形によるものとする。

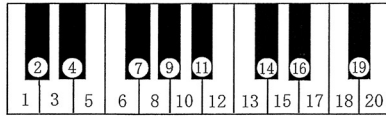
1. を中音(Ⅲ)とする長調

2. を属音(Ⅴ)とする長調

3. を下中音(Ⅵ)とする短調

第 87 回 — 楽典 課題 II —

【I】 次の鍵盤図を見て、下の問いに答えなさい。



- (1) 鍵盤番号によって示された 2 音が、指示された音程や調の音階構成音であるとき、それぞれに該当する調名、または音程名を例にならって記入しなさい。ただし、短調は和声短音階の構成音によるものとする。

例

鍵盤番号	7 - 16	
調名	ホ長調	
音程名	度	減 7 度



例解

鍵盤番号	7 - 16	
調名	ホ長調	ト短調
音程名	長 6 度	減 7 度

1.

鍵盤番号	5 - 9	
調名	嬰ハ短調	
音程名	度	減 4 度

2.

鍵盤番号	7 - 10	
調名	イ長調	
音程名	度	増 2 度

3.

鍵盤番号	11 - 17	
調名		ロ短調
音程名	増 4 度	

- (2) 鍵盤番号 4・6・7・13 を音階構成音として含む音階の調名を答えなさい。
ただし、短調は旋律短音階上行形の構成音によるものとする。
- (3) 鍵盤番号 6・9・12・14 によって示された和音がV₇の和音の構成音となるとき調名を答えなさい。

【II】 次の文章中の 内に該当する調名、または調関係を示す語を記入しなさい。

- (1) 変ロ長調 (B dur) の下屬調は、 である。
- (2) ニ短調 (d moll) の同主調は、ホ短調 (e moll) の である。
- (3) 変ホ長調 (Es dur) の屬調の同主調は、 の下屬調である。
- (4) 変ハ長調 (Ces dur) の異名同音調は、嬰ハ長調 (Fis dur) の である。

【III】 次の楽譜中 ... で示された和音のひびきの種類 (長三和音・短三和音...)

を答えなさい。

【IV】 次の旋律の調名を答えなさい。

第 88 回 — 楽典 課題 I —

【I】 次の楽譜を見て、以下の問いに答えなさい。

E. Wolf-Ferrari, Op14 Nr.1

(1) 次の文章の { } の中から正しいものを選び、その番号 (1・2・3) を記入しなさい。

イ) ㉔で示された楽語の意味は、
 { 1. 静かにおそく
 2. 歩く速さで
 3. 軽快に } である。

ロ) ㉕で示された音の異名同音は { 1. as
 2. ases
 3. aisis } である。

ハ) ㉖で示された楽語の意味は、
 { 1. 音の長さを充分保って
 2. 鋭いスタッカートで
 3. アクセントをつけて } である。

ニ) ㉗で示された連符を完成させると
 { 1.
 2.
 3. } となる。

ホ) ㉘で示された連符を完成させると
 { 1.
 2.
 3. } となる。

(2) ㉙・㉚・⋯・㉛ で示された 2 音間の音程を答えなさい。

(3) 第 11 ~ 13 小節の 「-----」 で示された旋律を、短 3 度低く調号を用いずに移調しなさい。

【II】 次の文章の () 内にふさわしい語句を下欄から選び、その番号を記入しなさい。

- (1) (ア) 時代の作曲家に、オーストリアの小村ローラウで生まれた (イ) がいる。(イ) は、ウィーンの (ウ) の聖歌隊員となり、その後、(エ) の宮廷楽長となった。(イ) は「ひばり」や「皇帝」と呼ばれる弦楽四重奏曲や、「驚愕」や「(オ)」と呼ばれる交響曲を残した。
- (2) (カ) 時代には数多くの作曲家が多様な作品を残した。1810 年前後には、有名な作曲家が数名生まれており、1809 年生まれの (キ) はヴァイオリン協奏曲ホ短調や交響曲第 3 番「(ク)」を残した。1810 年にはシューマンとポーランドの作曲家(ケ) が生まれた。(ケ) は作品 10 および(コ) の「12 の練習曲」などを作曲した。

1. 作品 30	2. 作品 25	3. ハイドン
4. モーツァルト	5. メンデルスゾーン	6. ショパン
7. 古典派	8. ロマン派	9. 聖シュテファン大聖堂
10. ノートルダム大聖堂	11. ラズモフスキー伯爵	12. エステルハーギー侯爵
13. スコットランド	14. 英雄	15. 時計

第 88 回 一楽典 課題 I 一

【III】

(1) 次の各音の上方、または下方に指示された音程をつくりなさい。
ただし、与えられた譜表上に記入すること。

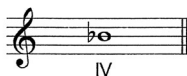
イ) 上方につくりなさい。

1. 完全5度 2. 長6度 3. 短3度 4. 増6度

ロ) 下方につくりなさい。

1. 減5度 2. 長3度 3. 短6度 4. 増11度

(2) 次に与えられた各音を、それぞれ指示された音階構成音とする調を調号と主音で示しなさい。
ただし、短調は旋律短音階上行形によるものとする。

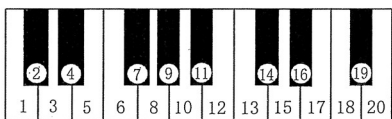
1.  を下属音(IV)とする長調

2.  を中音(III)とする短調

3.  を下中音(VI)とする短調

第 88 回 — 楽典 課題 II —

【I】 次の鍵盤図を見て、下の問いに答えなさい。



(1) 鍵盤番号によって示された 2 音が、指示された音程や調の音階構成音であるとき、それぞれに該当する調名、または音程名を例にならって記入しなさい。ただし、短調は和声短音階の構成音によるものとする。

例

鍵盤番号	4 - 7	
調名	ロ長調	
音程名	度	増 2 度

例解

鍵盤番号	4 - 7	
調名	ロ長調	ト短調
音程名	短 3 度	増 2 度

1.

鍵盤番号	4 - 12	
調名	嬰ト短調	
音程名	度	増 5 度

2.

鍵盤番号	10 - 19	
調名	ニ長調	
音程名	度	減 7 度

3.

鍵盤番号	6 - 12	
調名		変ホ短調
音程名	増 4 度	度

- (2) 鍵盤番号 7・9・10・14 を音階構成音として含む音階の調名を答えなさい。
ただし、短調は旋律短音階上行形の構成音によるものとする。
- (3) 鍵盤番号 3・7・11 によって示された和音がⅢの和音の構成音となるとききの調名を答えなさい。

【II】 次の文章中の 内に該当する調名、または調関係を示す語を記入しなさい。

- (1) ロ短調 (h moll) の属調は、 である。
- (2) ホ長調 (E dur) の平行調は、嬰ト短調 (gis moll) の である。
- (3) 変ロ長調 (B dur) の下属調の同主調は、 の属調である。
- (4) ロ長調 (H dur) の異名同音調は、変ホ短調 (es moll) の である。

【III】 次の楽譜中 、、 で示された和音のひびきの種類 (長三和音・短三和音…)

を答えなさい。

【IV】 次の旋律の調名を答えなさい。